

## 千葉駅帰宅困難者対策実動訓練について

## 1 日 時

平成29年11月9日（木）9：30～11：50

## 2 場 所

JR千葉駅周辺  
千葉市生涯学習センター（一時滞在施設）

## 3 主 催

千葉県、千葉市、千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会

## 4 参加人数

約200人（うち、帰宅困難者役 約120人（身体障害者6人、外国人4人））

## 5 スケジュール

訓練項目	時 間	会 場	特 徴
事前説明	9:30～ 9:40	モノレール千葉駅中二階	・協議会会長（中央区長）挨拶 ・訓練参加者（帰宅困難者役）への諸注意
通信訓練	9:30～ 10:10	各機関	・緊急連絡体制に基づく通信訓練 ※協議会の全機関が参加
利用者保護訓練	9:50～ 10:10	JR 千葉駅 京成千葉駅 モノレール千葉駅	・負傷者（腕の負傷：1名）への応急手当 ・身体障害者（視覚・聴覚・肢体不自由）への対応 ・JR千葉駅による外国語対応
情報提供訓練	10:10～ 10:25	JR 千葉駅 千葉市観光情報センター	・JR千葉駅及び千葉市観光情報センターでの外国語による情報提供 ・聴覚障害者への筆談対応
一時滞在施設への誘導訓練	10:25～ 10:35	JR 千葉駅～ 千葉市生涯学習センター	・帰宅困難者による身体障害者の誘導（車いす介助・視覚障害者の介助）
一時滞在施設の受け入れ訓練	10:35～ 11:20	千葉市生涯学習センター	・施設職員による視覚障害者への対応（受付票記入の代筆）
意見交換会	11:20～ 11:50	千葉市生涯学習センター 3階大研修室	【発表機関】 JR千葉駅・京成千葉駅・モノレール千葉駅・千葉中央警察署・千葉市観光協会（観光情報センター）・千葉市身体障害者連合会・千葉中央看護専門学校・千葉県

## 6 訓練の変更・中止

- (1) 本市に気象警報の発表又は、震度4以上の地震が発生した場合。
- (2) 訓練当日の午前7時に判断を行い、市危機管理課ホームページへの掲載及び参加機関へ連絡します。



## 千葉駅帰宅困難者対策実動訓練 参加機関一覧

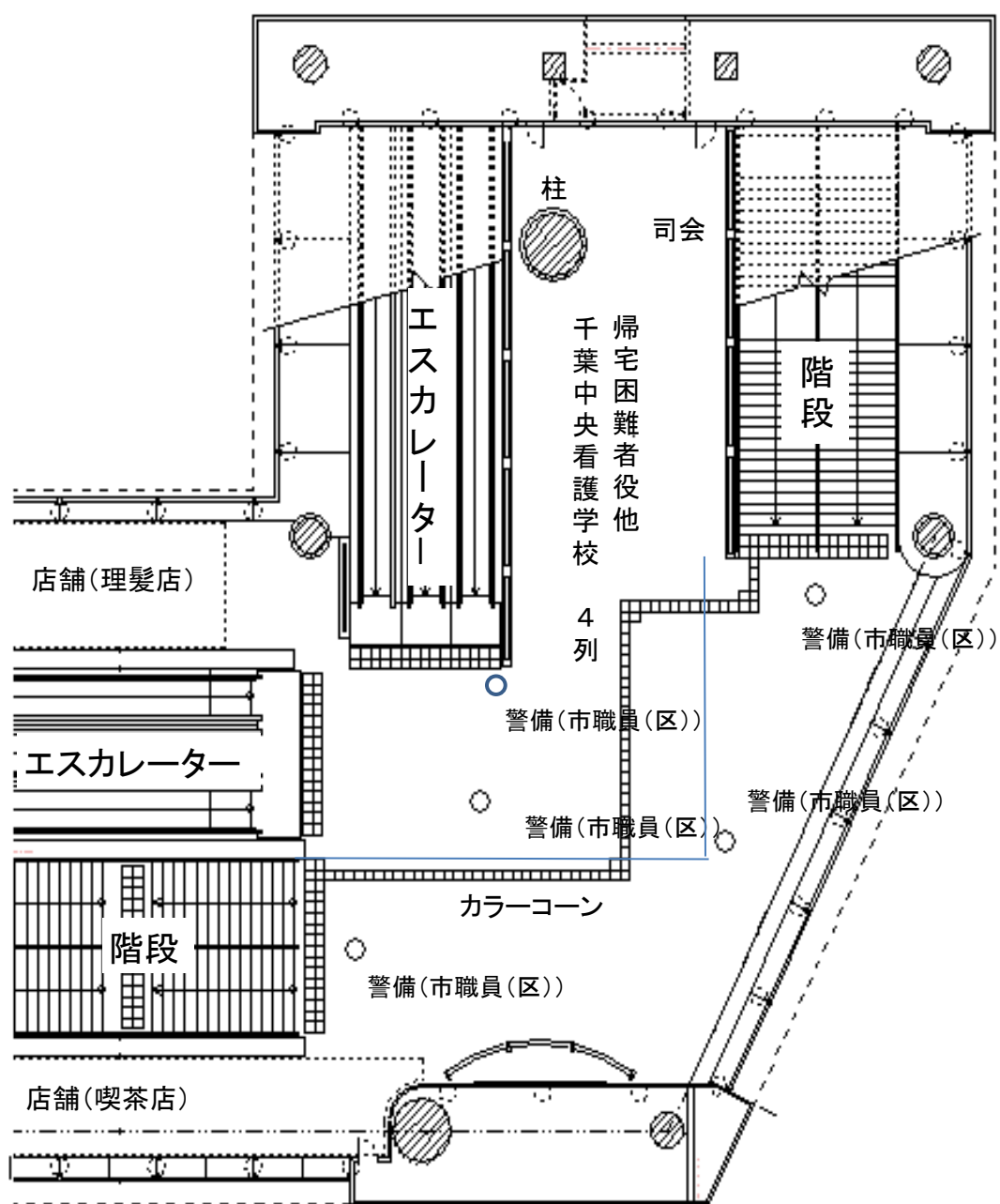
参加機関名簿			
	機関名	参加人数(予定)	
		実動訓練	通信訓練
交通機関	東日本旅客鉄道株式会社 千葉駅	27	1
	京成電鉄株式会社	2	2
	千葉都市モノレール株式会社	3	2
行政機関	千葉中央警察署	4	1
	千葉県警察 千葉市警察部	0	1
	千葉県鉄道警察隊	4	1
	千葉市危機管理課	0	1
	千葉市中央区役所	4	1
	千葉県防災政策課	0	1
	千葉市消防局	0	1
	千葉市観光協会	2	1
一時滞在施設	千葉市生涯学習センター	7	1
	千葉県本庁舎・中庁舎・南庁舎	1	1
	千葉県文化会館	1	1
	千葉競輪場	1	1
	千葉サイクル会館	1	1
	財務省関東財務局千葉財務事務所	2	1
宿泊施設・商業施設等	千葉商工会議所	0	1
	京成ホテルミラマーレ	1	1
	三井ガーデンホテル千葉	0	1
	株式会社そごう・西武 そごう千葉店	0	1
	株式会社千葉センシティ	0	1
	株式会社千葉ショッピングセンター	0	2
	株式会社千葉ステーションビル	0	1
	一般社団法人千葉県バス協会	0	1
その他	千葉中央看護学校	82	0
	ウエストリオ（テナント会）	13	0
	東日本旅客鉄道株式会社 蘇我駅	2	0
	千葉市身体障害者連合会	8	0
	国際交流協会（外国人）	5	0
	蘇我コミュニティセンター	1	0
小 計		171	28
合 計		199人(うち帰宅困難者役 122人)	

 ……帰宅困難者役

# 千葉駅帰宅困難者対策実動訓練 集合場所

集合場所:モノレール中2階広場

集合時間:9時15分



千葉駅帰宅困難者対策実動訓練 通信訓練シナリオ

上段:シナリオ  
下段:訓練

日時	災害状況、 気象予報の 発令状況 等	災害発生 状況	関係機関の対応状況					帰宅困難者 の状況	
			中央区役所	交通機関	商業施設・宿泊施設等	一時滞在施設	危機管理課		行政機関 (県、警察、消防、観光協会)
9:30	千葉市内全域 に震度6強の 地震が発生。	線路及び電気 系統の一部に 破損が生じて いる。 鉄道各社 の運休	各交通事業者と運行状況の確認。 交通機関より、運行休止の連絡を受け る。	運行状況の情報収集に努める。 本日中の交通機関の運行 は不可能と判断し、その 旨を中央区役所に連絡する。	施設の状況や客、従業員等に怪我 人がいないかどうか、確認する。 従業員や客等を安全な場所に誘導 する。安全な場所に誘導後は、し ばらく情報を提供するため、避難 者に一時待機を促す。	施設の状況や客、従業員等に怪我 人がいないかどうか、確認する。 従業員や客等に安全な場所に誘導 する。安全な場所に誘導後は、し ばらく情報を提供するため、避難 者に一時待機を促す。	千葉市全体の被害についての把握 と千葉市の体制について検討す る。	施設の状況や県民、市民等の被 害・通報に対応・確認する。	家族の安否を確認する。 身の安全を図りながら、 帰宅を急ごうとする。 鉄道の運行が休止したこ とにより、他機関への交 通手段がないか右往左往 する。 今日の帰宅は困難である と判断する。
			フロー① 交通機関から無線連絡を受ける。	フロー① 中央区役所に運行を休止する報告 を無線連絡する。 (JR:9:31 京成:9:33 モノレール9:35)			危機管理課より、電話により、 通信訓練開始の合図 (JR 9:30 京成 9:31 モノレール 9:32)		
9:40		千葉市内でイン フラ施設の一 部被害が出 ている。	緊急連絡体制をとり、対応状況票 により状況報告をするよう通知す る。	中央区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。 対応状況票を作成し、状況報告を 行う。	中央区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。 対応状況票を作成し、状況報告を 行う。	中央区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。 対応状況票を作成し、状況報告を 行う。	中央区役所からの連絡により、帰 宅困難者対応として緊急連絡体制 をとった旨、連絡する。	市より緊急連絡体制に入った旨の 連絡を受ける。	電車の運行状況等の情報 収集を行う。
			フロー② 交通機関、商業施設・宿泊施設 等、一時滞在施設、危機管理課に メール及びFAXで連絡する。	フロー② 中央区役所よりメール等を受 取る。メールを受取った旨を メール等で返信する。対応状 況票を作成する。	フロー② 中央区役所よりメール等を受 取る。メールを受取った旨を メール等で返信する。対応状 況票を作成する。	フロー② 中央区役所よりメール等を受 取る。メールを受取った旨を メール等で返信する。対応状 況票を作成する。	千葉県：衛星電話 市警察部、千葉中央警察署 市消防局：無線 鉄道警察隊、観光協会：電話 にて連絡する。	フロー② 千葉市危機管理課から無線または 電話連絡を受取る。	
9:50	余震が続いて いる。		フロー③ 対応状況票を交通機関、商業施 設・宿泊施設等、一時滞在施設よ りメール及びFAXで受け取る。 メールを受取った旨メール及び FAXで返信する。	フロー③ 中央区役所に対応状況票を メール等により送付する。 メール受信の連絡を中央区役 所から受取る。	フロー③ 中央区役所に対応状況票を メール等により送付する。 メール受信の連絡を中央区役 所から受取る。	フロー③ 中央区役所に対応状況票を メール等により送付する。 メール受信の連絡を中央区役 所から受取る。			
10:00			対応状況票(揭示用(第1報)) を取りまとめ送付する。	帰宅困難者の誘導準備をする。 情報提供の準備をする。	帰宅困難者の誘導準備をする。 情報提供の準備をする。	受入体制の準備をする。	中央区役所より受けた第1報を、 情報提供する。 また千葉駅での帰宅困難者への対 応を依頼する。	危機管理課からの情報を受けて、 臨機の対応をする。	
			フロー③ 交通機関、商業施設・宿泊施設 等、一時滞在施設、危機管理課に メール及びFAXを送信する。	フロー③ 中央区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	フロー③ 中央区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	フロー③ 中央区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	フロー④ 中央区役所よりメールを受ける。 千葉県、市消防局、観光協会： メール 千葉県警：FAX にて連絡する。 千葉県、観光協会 鉄道警察隊：電話 市警察部、千葉中央警察署、 市消防局：無線 にて支援を依頼する。	フロー④ 千葉市危機管理課からメールまた はFAXで連絡を受取る。 千葉市危機管理課から無線または 電話で連絡を受取る。	
10:10		道路渋滞 の発生	帰宅困難者数と受入可能人数から誘 導、受入の指示を出す。	情報提供を行う。 帰宅困難者の避難誘導。帰宅困難 者を中央区役所の指示により、分 配し、誘導する。 駅員に誘導を指示する。	帰宅困難者の受入準備。	帰宅困難者の受入準備。		帰宅困難者の避難・誘導。	駅より、情報を受取る。
			生涯学習センターに受入の依頼を 電話でする。	情報伝達訓練開始	通信訓練終了(区役所より対応状 況を受取り次第、訓練終了とす る。)	帰宅困難者の受入準備。	通信訓練終了	通信訓練終了(危機管理課より支 援要請を受け次第、訓練終了とす る。)	情報伝達訓練開始



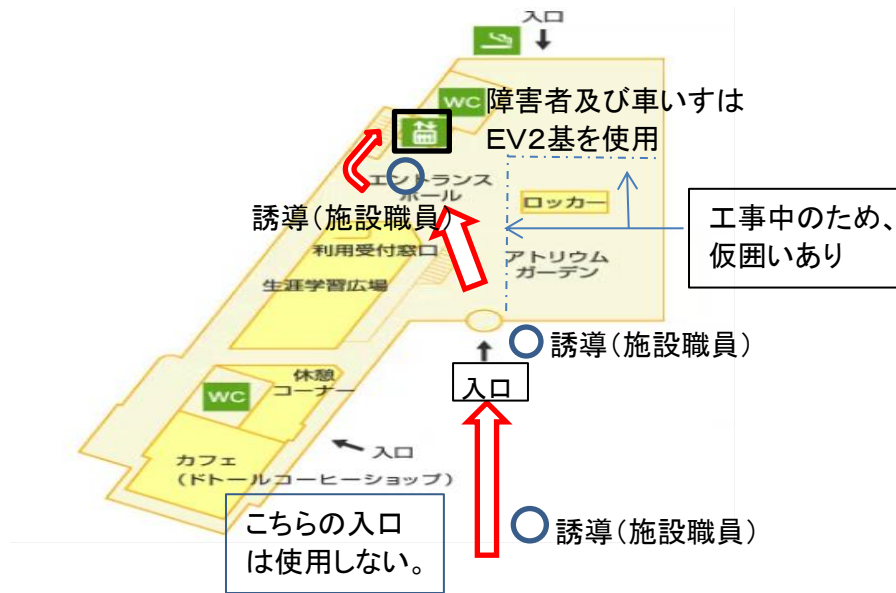


千葉駅帰宅困難者実動訓練 一時滞在施設への誘導訓練

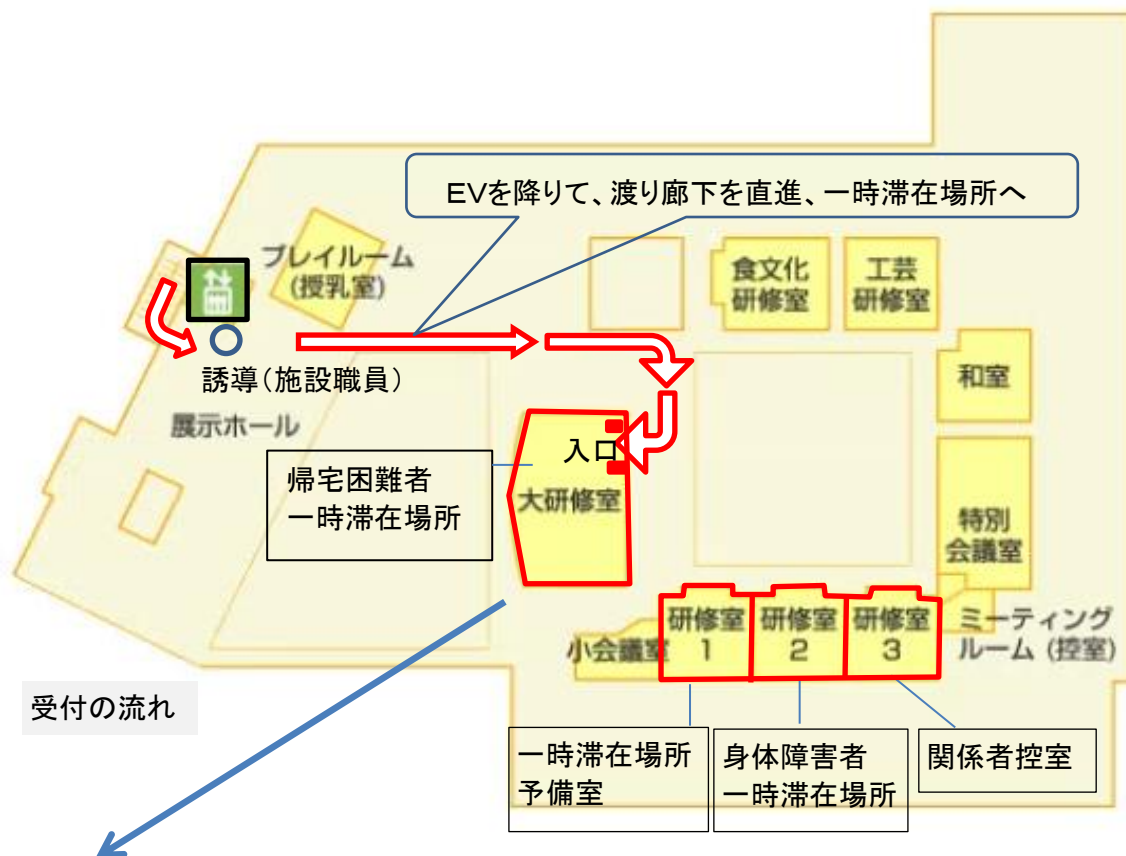


千葉駅帰宅困難者対策実動訓練  
一時滞在施設(千葉市生涯学習センター)受入訓練

1F 一時滞在施設 避難誘導



3F 帰宅困難者一時滞在場所



一時滞在場所の入口で受付票の紙を受取り、一時滞在場所に入り、前列からつめて席を確保して下さい。前列のみ、鉛筆を机の上に置いてあります。自席で、受付票を記入後(訓練のため名前のみの記入)、鉛筆を後席に回し、待機して下さい。施設職員が、受付票を回収し、引き換えに備蓄物資を渡します。



## 訓練変更または訓練中止の決定について

### 【 訓練の変更及び中止の判断について 】

訓練当日の午前7時に判断を行う。

#### (判断基準)

- ・ 千葉市内において災害が発生し、又は発生するおそれがある場合。
- ・ 各種警報が発表された場合。
- ・ 交通機関が混乱し、又は混乱するおそれがある場合。
- ・ 訓練を中止する必要があると事務局が判断した場合。


### 【 訓練中止の連絡について 】

- ・ 訓練用の緊急連絡先へ、事務局より電話で中止の連絡をする。また、中止決定の通知は、市危機管理課のHPにも掲載する。

## 千葉駅帰宅困難者実動訓練 意見交換会について

- 1 千葉県（全体講評）
- 2 東日本旅客鉄道株式会社 千葉駅
- 3 京成電鉄株式会社 運輸部
- 4 千葉都市モノレール株式会社
- 5 千葉中央警察署
- 6 千葉市生涯学習センター
- 7 公益社団法人 千葉市観光協会
- 8 千葉市身体障害者連合会
- 9 医療法人社団 誠馨会（せいけいかい） 千葉中央看護専門学校
- 10 千葉駅帰宅困難者等対策協議会



千葉開府 Road to <b>900</b>  since 1126	平成29年10月26日
	総務局危機管理課
	電話 245-5136
	内線 2503

## 平成29年度千葉駅帰宅困難者対策実動訓練を実施します ～駅における情報伝達や一時滞在施設への避難誘導、外国人への対応訓練などを実施～

本市では、千葉駅における帰宅困難者発生時の対応能力向上及び関係機関の連携強化のため、11月9日（木）に帰宅困難者対策実動訓練を実施しますので、お知らせします。

### 1 趣旨・概要

首都直下地震等が発生した場合、千葉駅周辺では多くの帰宅困難者の発生が予想されることから、行政機関、鉄道事業者及び一時滞在施設等の対応能力向上と連携強化を図るため、JR千葉駅、京成千葉駅、モノレール千葉駅の3駅で、帰宅困難者への情報伝達や一時滞在施設への避難誘導等の訓練を実施する。

### 2 日時

平成29年11月9日（木）9：30～11：50

### 3 場所

JR千葉駅周辺  
千葉市生涯学習センター（一時滞在施設）

### 4 主催

千葉県、千葉市、千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会

### 5 参加人数

約200人  
（うち、帰宅困難者役 約120人（身体障害者6人、外国人4人））

### 6 訓練想定

千葉市直下を震源とする大規模な地震が発生。地震の規模は、マグニチュード7.3と推定され、千葉市内では震度6強の揺れに襲われた。

### 7 訓練の特徴

負傷者及び身体障害者への対応を行うほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、外国人への対応訓練を実施します。

なお、市内での帰宅困難者対策実動訓練は、平成24年度にJR海浜幕張駅、平成25年度に九都県市合同防災訓練の一環としてJR千葉駅を対象とした訓練以来、3回目となります。

## 8 訓練の概要

駅構内での利用者保護訓練の後、一時滞在施設への誘導、同施設での受け入れ訓練などを行います。終了後、参加の関係機関による意見交換会において訓練の振り返りを行います。

### (1) 通信訓練

区役所と対策協議会各機関との間で情報収集・伝達訓練を実施する。

(被害情報、帰宅困難者発生情報、一時滞在施設の使用可否 等)

### (2) 駅構内での利用者保護訓練

各鉄道事業者が、利用者を安全な場所へ誘導し、負傷者の応急処置を行う。

### (3) 情報提供訓練

帰宅困難者に対し、一時滞在施設の開設状況等の情報提供を行う。

### (4) 誘導訓練

各鉄道事業者が、帰宅困難者を一時滞在施設まで誘導する。

### (5) 一時滞在施設受入訓練

施設の開設準備、帰宅困難者の受入及び物資の配布等を行う。

## 9 訓練の変更・中止

(1) 本市に気象警報の発表又は、震度4以上の地震が発生した場合。

(2) 訓練当日の午前7時に判断を行い、市危機管理課ホームページへの掲載及び参加機関へ連絡します。

## 10 取材について

(1) 当日会場には報道受付は設けていません。会場内では自社の腕章等を着用し、駅及び施設利用者、並びに訓練に支障がない場所で取材ください。

※事前受付も不要です。なお、報道機関向けの駐車場はありません。

(2) 会場内では係員の指示に従い、円滑な訓練の進行にご協力ください。

### <参考>千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会について

#### 1 設立経緯及び目的

平成23年3月の東日本大震災を契機に、県では同年12月に「駅周辺帰宅困難者等対策協議会設置のためのガイドライン」を作成し、大量の帰宅困難者等の発生が予想される駅ごとに行政と関係事業者等で構成する協議会を設置して、帰宅困難者等対策に取り組んでいくこととしています。千葉駅周辺においても東日本大震災で約1,800人(推計)の帰宅困難者が発生したことから、平成24年4月に駅を中心とした周辺の関係機関、行政機関や消防・警察の間で、共通の認識を持ち、対応に当たるための「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」が設置されました。なお、現在、県内には、「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を含め、10協議会が設立されています。

#### 2 構成機関

東日本旅客鉄道(株)千葉駅・千葉支社、京成電鉄(株)、千葉都市モノレール(株)、千葉商工会議所、(株)そごう・西武そごう千葉店、(株)千葉センシティ、(株)千葉ショッピングセンター、京成ホテルミラマーレ、三井ガーデンホテル千葉、千葉中央警察署、千葉県警察千葉市警察部、千葉県鉄道警察隊、千葉市(区役所・消防局含む)、千葉県(管財課(本庁舎、中庁舎、南庁舎)、文化会館を含む)、千葉競輪場、千葉サイクル会館、千葉市生涯学習センター、(株)千葉ステーションビル、(一社)千葉県バス協会、財務省関東財務局千葉財務事務所